

とか、地獄極樂ナントそんな事はない、釘抜きで舌を抜くナントいふ事はありはしないとかいふ様な譯で、所謂科學の知識の下に落込んで、深淵なる宗教の意識を理解せざる教育者が、つい宗教を侮蔑せしむる様な事を言ふのである。それで宗教家に對して使ふ言葉なども頗る不遜な事をいふのである、楠正成公に對しては「楠公」といふて尊敬するやうに言ふ、發音からさうである、楠公様と言ひ、乃木將軍様といふ。坊さんの事になつたならば、日蓮といつても侮蔑した様な意味を含んで、「日蓮坊主が……」といふ様な口吻でいふ、日蓮が如何なる忠君の志士であつたかも知らないで、徒らに宗教を厭嫌せしむる様な事を言ふ、吾々は屢々耳にする、「私は家庭にある時は宗教の信仰を有つて居つたけれども、學校の寄宿舎に入り、學校の教場で教はりつゝある間に、家庭で與へられた信仰を失つてしまいました、今は無宗教であります」といふ人が澤山ある。言譯は兎も角も、眞實を申せば——若くは檢事の論告の態度を以て申せば、教育界に於ては宗教の發展を阻碍し、我が國民より宗教心の啓發を阻止

したる罪は、どうしても有罪の宣告を與へなければならぬのであります。そこで是は斷然悔ひ改めねばならぬ態度であります。

但し斯様な事を聞いて居りますが、この點も餘程明瞭にしなければならぬ事である、それは、宗教全部が悪いといふ考ではないが、基督教が日本に蔓延すると我が國民道徳を傷つける、他は西洋的思想の爲に個人主義を力説したり、或は共和政治の觀念を有つたり、又基督教の神を説くが爲に日本の神明を侮蔑せしめたり、我國の長所を理解せずして何となしに歐化思想に導く事に依つて、この日本の教育を阻碍するからして、そこで宗教はいけないといふ事にして、之は拒斥しない限りには、我が教育の効果を擧げる事が出来ない、即ち我が倫理政策の爲に、宗教とし云へば善さも悪さも嫌がらすやうにして置くことに依つて、これを防禦したものである、我が國民教育の倫理政策より出たものであると。斯ういふ事を相當なる責任者より私は耳にしたのであります。その御苦心の點は御尤であります、それは基督教が我が國民道徳を阻碍する